

# まちの情報 札苗地区 \* まちの瓦版

\* 札苗 \* 中沼 \* 東雁来 \* No. 6

2009年1月 発行



発行：モエレまちづくり委員会・まちの情報委員会

## 東雁来でも「安心安全なまちづくり」に取り組んでいます

### <東雁来自主防犯パトロール隊出動！>

10月18日(土)、東雁来会館前・東雁来すずらん公園(東雁来8条4丁目)で東雁来地区自主防犯パトロール隊の出動式が行われました。「全国地域安全運動(10月11日~20日)」にあわせて、車上狙いや不審者による声掛け事件など、不測の犯罪や事故から子供やお年寄りの被害を未然に防ごうと、発足したものです。

この日は、各町内会長や防犯部長、地域安全活動推進委員など約30人が、白いジャンパーと青い帽子、腕章を身に付け参加。

佐藤本部長(東雁来連合町内会長)、三浦東警察署生活安全課長からの激励のあいさつの後、パトカー、青色回転灯を装着した車を先頭に、隊員が公園付近を一回りし、地域を守る決意を新たにしました。

これからは、パトロール隊の見回り活動を中心に、多くの家庭でも出掛ける際には腕章を付け、日常的に地域の隅々まで目を光らせる取り組みを展開していきます。

札苗地区では、札苗連合町内会、中沼連合町内会でも同様のパトロール隊を結成しており、これで安全で安心なまちづくりへの取り組みが一層充実されることになりました。



## そして札苗地区が…「子どもも安心して暮らせるまち」になっています！

### <ぼくらのとりで10周年！！ 札苗小学校・ミニ児童会館>

11月15日(土)、札苗小学校でミニ児童会館の開館10周年を記念して「ミニかん10周年おめでとうパーティー」が開催されました。

ミニ児童会館は、小学校の余裕教室を活用して整備しているもので、その小学校に通う子どもたちの有意義な校外生活の場となるよう、毎月、工作会や映画会、スポーツなど趣向を凝らした行事も行われています。札苗小学校ミニ児童会館は、市内3番目の開館で、財団法人札幌市青少年女性活動協会が管理運営しています。



体育館には、子どもたちや保護者、地域の皆さん約150人が集まりました。「祝う会」では、札苗小有志の「ミニかん太鼓」とみこし、「SHINORO★jam」によるバトントワリングや、人形劇団「ばおばぶ」による人形劇も披露されました。子どもたちは、華麗なバトンさばきや、ユーモラスなストーリー展開の人形劇に釘付け。この日に向けて企画や準備を進めてきた子ども運営委員会「ミニキッズ」によるスライドショーも行われ、10年間の活動を振り返りました。

会場をランチルームに移しての「ミニかんまつり」は、手作りおもちゃで遊ぼうコーナーや、ラッキー占い、ヨーヨーつり、ポップコーンなど、子どもたちのお目当てのものが盛りだくさん。各コーナーを担当したミニキッズたちも、来場した子どもたちと一緒に楽しい一日を過ごしました。



## 地域みんなの協力で、札苗地区には一年中、色々な「花」が咲いています！

### ＜中沼・中野町内会が「ます花壇優良制作者表彰」を受賞＞

11月18日(火)、中沼・中野町内会が「ます花壇優良制作者」として札幌市から表彰されました。これは、札幌市が緑のまちづくりの一環として、街路樹の植樹ます等を利用した花壇の造成に積極的で、地域の道路景観の美化に貢献のあった団体の中から、特に優れた団体を表彰しているものです。32回目となる今年は、全市で10団体が表彰されました。



中野町内会は、モエレ沼公園西側入り口から中沼小学校までの約1.5kmにわたるます花壇を毎年きれいに手入れしています。高橋会長は、「これもひとえに町内の方々が総出で植栽や草取りなどに尽力してくれたおかげ。今後も、モエレ沼公園の西側玄関口の町内会として皆さんに喜んでいただける取り組みをしていきたい。」と気持ちを新たにしています。

東区ではこれまで58団体が、札苗地区では札苗連合町内会(平成3年度)が同表彰を受賞しています。



### ＜光の花咲くモエレ公園通り＞

夜の三角点通を通ると、ひときわ目をひく青や赤のイルミネーションのき。まるで街路樹に淡い光の花が咲いたような光景が、道行く人やドライバーの目を楽しませています。三角点通は、夏場は地域ぐるみで花を植えていますが、冬場はどことなく殺風景。そんな街並みを少しでも明るくしようと、平成14年から札苗商店街が各店舗などに呼びかけ、費用の一部を補助する形で街路樹にイルミネーションを設置しています。

最初は、C7ビルのカリヨンの塔と街路樹12本の電飾でスタート。3年ほど前からは、電球もLED(発光ダイオード)を使い省エネモードに切り替え。「ゆくゆくはイルミネーション通りに」という同組合の呼び掛けに賛同する店舗も少しずつ増え、7年目の今年は全部で17本に。特に、札幌新道から札苗小学校辺りまでが見どころで、地域の人達の評判も上々です。

設置作業が済んだところから点灯をはじめ、11月29日(土)から全面稼働。淡く柔らかい輝きが、2月下旬まで、夜のまちを美しく彩ります。



## ●●●●● 札苗地区の歴史を紐解いてみると ●●●●●

● 札苗再発見 「先人の思いが神社、そして地名に」

● 雁来篠路連絡線から雁来新川を越えた先にある「豊畑神社」。

● 大正初期、この地に入植して農業を営んだ百瀬知寿人はじめ16人の人達が、五穀豊穰の守護神である稲荷大神を氏神に奉斎することを願い、元札幌神社の野村茂神官の祭祀により、神名を刻んだ角材を建て、お参りしたのが始まりと言われています。

● その後、昭和2年、道路沿いに再建立され、伏見稲荷社の分霊を奉斎し、「この辺りを豊かな畑に」との思いを込め、豊畑神社が創立されました。神社周辺の地域一帯を豊畑と呼ぶのも、ここからきているそうです。



● 「札苗地区」のことをどのくらい知っていますか？隠れた名所旧跡があるのかも…。長年住んでいても知らないことはたくさんあります。小学校では地域の歴史を学ぶ授業もあり、地元・札苗地区の成り立ちも、子どもたちに伝えていきたいものですね。

● そんな札苗地区の色々なことを「札苗まちづくりセンターのHP」でご紹介しています。札苗まちづくりセンターには、それを紙に印刷してまとめた物も置いてあります。時間のあるときにでも、是非のぞいてみてください。皆さんの住んでいる地域のことを、もっと知ってみませんか…！

● 札苗まちづくりセンターHPへは、

● 札苗地区HP ( [http://www.geocities.jp/moere\\_satunae/](http://www.geocities.jp/moere_satunae/) ) からお入りください。

発行 : モエレまちづくり委員会 まちの情報委員会

お問い合わせ : 札苗まちづくりセンター TEL 011-783-3608